

奨学のための給付金申請チェックシート（年額給付用）

※学校が記入すること

令和7年度版

学校名

申請者名

特記事項

申請書類	チェック欄	チェック項目
1 申請書 (様式1-1)	☐	右上の日付が記入されていて、7月1日以降の日付となっている。
	☐	正しく学年が記入されている。
	☐	高校生等氏名に記載の生徒は、在学している生徒の氏名、生年月日に相違ない。 ※学校で通称等を使用している場合でも申請書では本名を記入すること。
	☐	過去に在学歴がある場合は適正に記入している。(誤って現在の高校について記載されていても訂正不要)
	☐	①～⑨の確認項目について、確認済みのチェック(レ点)が入っている。
	☐	申請者名義の口座が記入されている。 ※申請者名義ではない口座が記入されている場合は、申請者名義の口座に訂正するか、口座情報は二重線で消し、別途「代理人の受領にかかる委任状」と「口座振込依頼書」の提出を求めています。
申請書 (様式1-2)	☐	課税証明書等またはマイナンバーを提出する保護者について、該当箇所にチェックがある。
	☐	【生活保護受給世帯以外の場合のみ】 生業扶助を受給していないことについてのチェックがある。
	☐	【様式1-2(その2)の場合(個人番号貼付台紙を提出する場合)のみ】 (1)で「生業扶助を受給していることが分かる証明書」にチェックがない場合(＝個人番号貼付台紙を提出する場合は、1月1日時点の住所が記載されている。 ※課税証明書等が添付されていて、かつ1月1日時点の住所が記載されていても訂正不要。
2 課税額が確認 できる書類	☐	様式1-2の(1)で「生業扶助を受給していることが分かる証明書」にチェックがある場合は、福祉事務所が発行した生活保護受給証明書が添付されている。 ・令和7年7月1日以降に発行されていること
	☐	【様式1-2(その1)の場合(＝課税証明書等を提出する場合)のみ】 (1)で「生業扶助を受給していることが分かる証明書」にチェックがない場合は、課税証明書等が添付されている。(写し可)
	☐	課税証明書等は令和7年度のものが添付されている。 ・写しを添付している場合は、年度・氏名・住所・所得割額・発行元が確認できる。
3 同意書	☐	申請者が高校生等の法定代理人でなく、かつ、高校生等本人でない場合は、同意書が提出されている。
4 通帳のコピー	☐	申請書に記載された口座の通帳の写しが添付されている。 ※県立学校は学校保管
5 個人対象要件証明書 ※専攻科の場合のみ	☐	専攻科の生徒の場合、添付されている。
6 住民票記載事項 証明書	☐	次のア、イのいずれかに該当する場合に提出されている。 ア 様式1(その1)で申請する場合(＝課税証明書等を提出する場合)で、申請書に記載の基準日現在の住所と、課税証明書等に記載の住所が異なる場合(該当する保護者等分のみ必要) イ 様式1(その2)で申請する場合(＝個人番号貼付台紙を提出する場合)で、申請書に記載の基準日現在の住所と、賦課期日となる1月1日時点の住所(市町)が異なる場合(該当する保護者等分のみ必要)
全体	☐	訂正箇所がある場合は、二重線を引き、余白に訂正内容を記入している。(修正液や修正テープによる訂正は認めません。)
	☐	申請書類はフリクション式のボールペン(いわゆる「消えるボールペン」)で記入されていない。
	☐	申請書類は順番どおりにならんでいる。(['紙申請の場合']学校で作成する資料について(年額給付・家計急変用)」に記載のとおり)
	☐	生徒の旧姓や通称等、審査で必要となる事柄については特記事項に記入した。

このチェックシートを一番後ろにして、申請書類とともに1名分ずつクリップ留めして提出してください。